令和2年度　事業報告

学校法人　九州電気専門学校

1．法人の概要

(1) 建学の精神（教育指針）

① 電気技術教育を通じ国家社会の進展と人類の福祉に貢献する。
② 誠実明朗な人格の形成に努め責任を重んずる有能な技術者を養成する。
③ 勤労しつつ電気技術の習得を志す者に勉学の場を設け、地域社会に寄与する。

(2) 学校法人の沿革

○　大正12年、当時の九州帝国大学、九州財界や官界の諸先生が、将来の電気技術者の不足を憂い、向学心に燃える勤労青年を教育し、質実剛健で有意な人材を育てることを目的に、夜学として創設した。

○　戦争混乱期等、学校経営上厳しい時期もあったが、昭和30年代後半には福岡商工会議所会頭 佐藤篤二郎翁を理事長に迎え、時代の要請に応えるために青少年に魅力のある有国家資格の学校として尽力・再興、昭和51年には学校法人として現校名とし、現在地に校舎を新設した。

○　昭和50年代には電気主任技術者認定校や電気工事士養成施設指定校となるとともに、昭和57年には全日制の設置、平成7年には専門士称号認定等、様々な発展と歴史を辿り、97年の星霜を踏まえ、7,000人を超す卒業生を世に送り出してきた。

(3) 設置する学科

（表1）

課　程	学　科	昼・夜間の別	摘　要
電気工学専門課程	電気工学科	全日制	
		定時制	
	情報通信工学科	全日制	平成18年4月募集停止
電気工学一般課程	電気工事士科	全日制	
		定時制	

(4) 学科等の学生数の状況

（表2）　　（令和2年5月1日現在）

学科名		クラス	入学定員	総定員	現員数	摘要
電気工学科	全日制	2	100	200	60	
	定時制	2	50	100	23　(2)	
情報通信工学科	全日制	2	40	80	―	募集停止中
電気工事士科	全日制	1	40	40	15	
	定時制	1	50	50	9	
				（計）	107　(2)	(　)休学者内数

(5) **役員の概要**　（令和2年8月末日現在）

（表3）　［定員数］理事7名　監事2名

区分	氏名	理事選任条項
理事長	梨田　一海	3号(学識経験者)
理事	渡辺　征夫	1号(校長):1名
	中原　道隆	2号(評議員)
	廣渡　健	3号(学識経験者) :計4名
	今村　弘	
	石松　隆	
	八尋　茂	2号(評議員) :計2名
監事	堤　　克彦	
	漆間　道宏	―

(6) **評議員の概要**（令和2年8月末日現在）

（表4）　　［定員数］19名

氏名	評議員選任条項
渡辺　征夫	1号(校長):1名
中原　道隆	2号(職員)
岡田　龍雄	4号(学識経験者) :9名
福重　康行	
池田　良司	
佐々木有三	
大島　洋	
小野　利喜	
宮崎　昌英	
近藤　勲	
吉田　純一	
八尋　茂	3号(卒業生) :5名
近藤　盛弘	
吉松　信幸	
内田　宗喜	
山科　光男	
福井　文彦	2号(職員) :計4名
佐藤　博	
徳永　洋一	

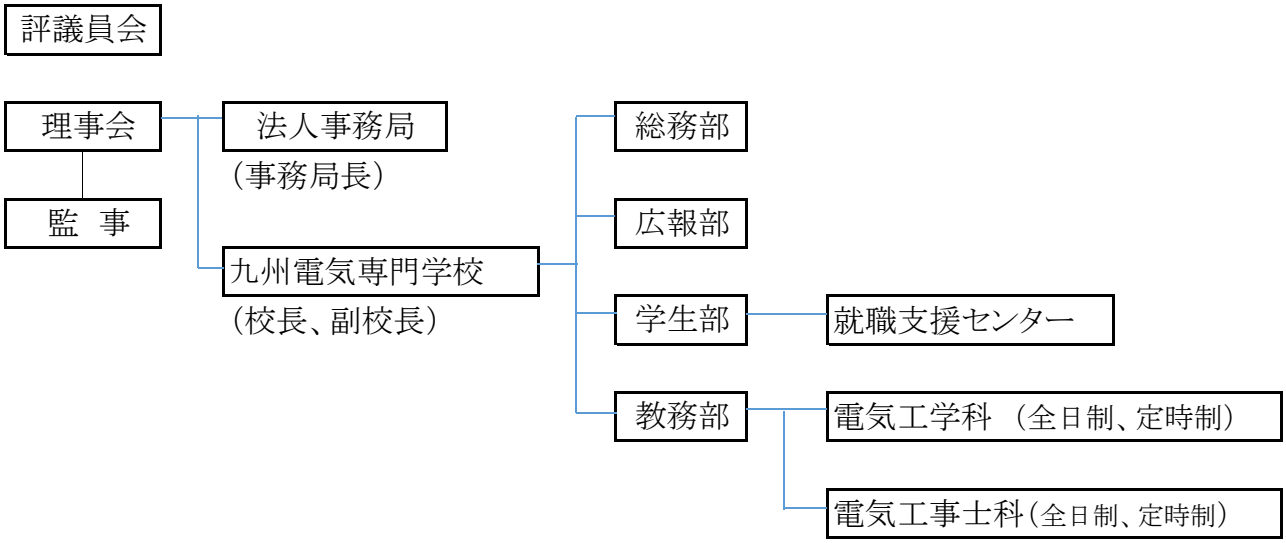
(7) 教職員の概要　　（令和2年5月1日現在）

（表5）

教 員	常　勤	9名	校長、副校長、電気工学科(5)注1、電工事士科(2)
	非常勤	36名	電気工学科(28)注2、電気工事士科(8)
職　員	常　勤	4名	総務部長、広報部長、職員2名（女性）

（注）1. 常勤教員の電気工学科5名には、学生部長を含む
2. 九大院生6名を含む
3. 別にパート職員3名が在籍

(8) 組織図



(9) 施設等の状況

① 主な現有施設設備の所在地等の説明

（表6）　　（千円）

所在地	施設等		面積（㎡）	取得価額	帳簿価額	摘　　要
福岡市博多区住吉四丁目4番5号	校地		1,734	252,498	252,498	S50.11取得
	建物		2,835	293,881	131,070	
		本館	2,053	184,380	66,997	S51.8竣工、S58.3増設
		別館	765	99,252	57,745	S62.4竣工、H6.4・H7.4増設
		渡廊下	17	10,249	6,328	H7.8竣工

２. 事業の概要

わが国においては基調的に少子化や若者の電気離れの傾向にあり、また平成20年代中頃からは経済情勢の持ち直しや企業の人手不足等により、近年においては入学者が60名前後に低迷し、大変厳しい学校運営を余儀なくされてきている。

このような状況下、令和2年度は経営の安定を目指して、経費節減の推進や種々の収益確保施策の検討及び一段の入学者増加対策について全校一丸となって取り組むとともに学費の見直しについても検討を行い、令和4年度から改定することとなった。
また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済不安から、資格取得等への意向もありR3/4入学者は71名と昨年より増加した。

一方、本校の就職面においては良好な状況が続いており、R3/3卒業者の就職内定率は98%となった。電気技術者や電気主任技術者等の全国的な有資格者の不足が現実的な問題となっており、即戦力となる人材の養成を目指す本校での就学や就職面での有利性について、社会の認識が新たとなる契機ともなっている。

国の教育を取り巻く環境としては、近年、専修学校の質保証・向上に向けた評価制度が導入され、当校においても自己評価及び学校関係者評価を行っている。
さらに、職業大学・短期大学が制度化されるなど実学教育が指向されるとともに、少子化への対応策としての修学支援新制度も制定され、当校もその認定校となった。

今後、新型コロナウイルス感染拡大については、ワクチンの接種などにより安定傾向になり、教育環境も改善されるものと思われるが、18歳人口は減少傾向（2018年問題）にあることから、令和3年度についても、なお一層の学校経営の安定化施策や100周年記念事業の募金活動等に積極的に取組んでいく。

以上のような情勢において、経済産業省による認定校及び指定校として、当校が令和2年度に取組んだ主な内容と結果を以下に示す。

(1) 業務関係

① 奨学金及び修学支援金貸与状況（表7）

o 令和2年度日本学生支援機構の奨学金及び修学支援金は、期末在籍者79名(電気工学科)のうち、受給者はそれぞれ14名（18%）、9名（11%）であった。

昨年より奨学金貸与率が減少しているが、R2年度に新設された修学支援の貸与者を含めると20名（25%）となる（3名は重複）。なお、それぞれの貸与人数は実人数で記載。

（表7-1）奨学金 貸与状況（電気工学科 昼・夜）

	在籍者	貸与状況（年度末）				(B/A)
	期末 (A)	1種	2種	1・2種	計(B)	
1年次	37(2)	1	2	2	5	14%
2年次	42(2)	1	7	1	9	21%
計	79(4)	2	9	3	14	18%
R1年度	91(3)	8	17	2	27	30%

（注）在籍者（ ）内は休学者で内数

＊1種：成績基準あり（無利子）
2種：成績基準実質無し（利子3%）

（表7-2）修学支援金 貸与状況（電気工学科 昼・夜）

	在籍者	授業料減免		給付型	実人数 (B)	支援額区分			(B/A)
	期末 (A)	入学金	授業料			100%	2/3	1/3	
1年次	37(2)	7	7	7	7	6	1	0	19%
2年次	42(2)	0	2	2	2	0	1	1	5%
計	79(4)	7	9	9	9	6	2	1	11%

② 休学・退学者の状況（表8）

o 学力に幅がある学生に対し、能力別クラス分けや個別指導等キメ細かな指導教育を行い、また、本人の生活面の指導も含め家庭との密な連携等を行ったものの、経済面等の個別事情とともに、新型コロナウイルス感染防止対策のための自粛などの影響もあり、休・退学者は 12名（11.2%）となり昨年より増加した。

（表8）在籍者と休学、退学者等の年度別推移

	H28	H29	H30	R1	R2
期首在籍者 (a)	111	127 (2)	107 (4)	112 (3)	107 (2)
(期中休学者)	(3)	(3)	(1)	(2)	(4)
退学・除籍者	8	6 〈1〉	5 〈4〉	6 〈2〉	8 〈2〉
期末在籍者	103 (3)	121 (4)	102 (1)	106 (3)	99 (4)
[休・退学、除籍者](b)	11	10	6	9	12
(b)/(a)	9.9%	7.9%	5.6%	8.0%	11.2%

（注）1．在籍者の（ ）内は休学者で内数
2．〈 〉内は休学者が期中に退学・除籍した者で内数

③ 電気主任技術者（第三種）受験対策講座を開設・募集開始。
o 直前対策講座（土日祝7日間、7～8月）を開設。
o直前対策講座は、一般の受講者及び在校生を含め14名受講。

④ 修学支援新制度の申請
o 少子化対策として授業料免除及び給付型奨学金の支給制度開始（R2.4.1）。
o当校も R1年7月 申請し、同年9月認定校となり、毎年更新中。

⑤ 学校創立100周年（令和5年（2023年）5月）にむけた記念事業の展開。
o 募金（1.5億円）に向けた準備及び募金活動の実施。
o 実践的かつ高度な電気工事技術を学ぶ新学科（2年コース）の開設等の検討実施。

⑥ 収益力向上諸施策の検討
o 短・中期的或いは長期的に対応すべき経営課題の対策検討。
o 学費改定や組織・制度面の検討など。

(2) 広報関係

学校説明会（オープンキャンパス）や高等学校訪問活動、ガイダンスへの参加などを実施。福岡県電気工事業2組合や同18支部訪問に力を入れた。

また、ホームページを充実しWebによる個人へのアプローチを充実させるとともに、学校案内パンフレット類や卒業生の「就職内定者KEC便り」を送付した。

あるいは高校向けの「学校PR版」掲示依頼等により高等学校との連携を深めた。

① 令和3年4月入学者数（表9、添付資料）

o 入学者は71名と昨年より10名増となり、目標の80名には9名未達となった。

o 電気工学科(全日制)が、昨年の28名から大きく増加し48名となった。

o 電気工事士科は、昨年の14名から12名と微減であった。

o 定時制は両科をあわせ、昨年の19名から11名と減少した。

（表9）入学者数の推移　　入学者目標 80 名

			H29	H30	R1	R2	R3
電気工学科	全日制	100	43	38	34	28	48
	定時制	50	6	14	12	10	7
	（小計）		49	52	46	38	55
電気工事士科	全日制	40	13	4	8	14	12
	定時制	50	8	2	7	9	4
	（小計）		21	6	15	23	16
合　計		240	70	58	61	61	71
	対前年差		−5	−12	3	0	10

［ 学校説明会参加状況等 ］

o 学校説明会の参加者は83名（昨年は100名）。
そのうち、入学者は45名（54％）であり、参加者の5割以上であった。（表10）

o 入学者71名のうちの学説参加者の割合は63％（45名）であり、昨年75％（46名）から減少したが、事前問い合わせもないまま願書提出した入学者が16名（23％）と従来より多かった。

o 本校を知ったきっかけは、ホームページが52％と最も多く、昨年（58％）とほぼ同等。
2番目は例年通り家族・友人・知人からの紹介であり、35％であった。
（入学者アンケート結果、表11）

（表10）入学者と学校説明会参加者との関係

	H31	R2	R3
全体入学者(A)	61	61	71
学説参加者(B)	100	100	83
うち入学者（C）	48	46	45
（C）/（A）	79%	75%	63%
（C）/（B）	48%	46%	54%

＊今回入学者71名のうち1名はH31年度の学校説明会に参加（45名に含まず）

（表11）本校を知ったきっかけ（要因構成）　（%）

	H31	R2	R3
ホームページ	46	58	52
家族・友人・知人	39	28	35
本校の関係者	7	4	1
母校の先生	4	4	10
進学情報誌	2	3	1
その他	2	3	1
計	100%	100%	100%

② 入学者（R3.4）の特徴

ア．学科別・出身高校分野別及び年齢別、新・既卒別内訳

o 高校新卒者は49名（69％）と昨年の33名（54％）から15％増加した（表12）

o 普通科高校出身者は昨年の30名（49％）に比べ、10名増の40名。（表13）
工業高校の電気系出身者は13名(昨年から2名減)、また、商業他は11名(昨年から4名増)。

o 年齢別では、18歳以下が46名(65％)と、昨年の31名(51％)から大きく増加した。（表14）
逆に、31歳以上は4名(5％)と、昨年の9名(15％)から大きく減少した。（表14）

o 女性は1名（電気工学科全日制）で、留学生はなし。
昨年は女性2名（電気工学科全日制1名、電気工事士科1名）。

（表12）学科別・出身高校分野別及び新・既卒別入学状況

		入学者数	工業高校 電気系	工業高校 その他	普通	商業他
電気工学科	全日制	48	13	4	27	4
	定時制	7	0	2	1	4
	（小計）	55	13	6	28	8
電気工事士科	全日制	12	0	0	10	2
	定時制	4	0	1	2	1
	（小計）	16	0	1	12	3
合　計		71	13	7	40	11
	［構成比］	100%	18%	10%	56%	16%
（内訳）	新卒	49	10	5	32	2
	既卒	22	3	2	8	9

（年齢別内訳）

～18	19～24	25～30	31才以上
36	11	0	1
0	3	2	2
36	14	2	3
9	2	1	0
1	1	1	1
10	3	2	1
46	17	4	4
［65%］	［24%］	［6%］	［5%］

（表13）出身高校分野別入学者の推移

		R1	R2	R3
工業	電気系	(18) 11	(25) 15	(18) 13
	その他	(8) 5	(15) 9	(10) 7
普通		(56) 34	(49) 30	(56) 40
商業他		(18) 11	(11) 7	(16) 11
計		(100) 61	(100) 61	(100) 71

注（　）内は構成比（％）

（表14）年齢別入学者の推移

		R1	R2	R3
～18才		(46) 28	(51) 31	(65) 46
	19～24才	(33) 20	(24) 15	(24) 17
	25～30才	(10) 6	(10) 6	(6) 4
	31才以上	(11) 7	(15) 9	(5) 4
19才以上計		(54) 33	(49) 30	(35) 25
計		(100) 61	(100) 61	(100) 71

イ. 出身地域別及び既卒者の学歴等内訳

o 福岡県出身は42名で昨年より13名増。福岡県以外の九州出身は昨年同様24名。
福岡臨県では20名（佐賀8、熊本5、大分3、山口4）で福岡をあわせると87%。
昨年の福岡臨県は11名（佐賀2、熊本2、大分4、山口2）で福岡をあわせると66%（表15）

o 新卒者49名のうち、新型コロナウイルスの影響も有り、福岡県出身は29名(前年比+14)(表16)
既卒者22名のうち、福岡県出身は13名（前年比▲1）、九州その他7名（前年比▲3）及び
九州域外2名（前年比▲2）であり、合計で6名減であった。
そのうち7名は大学等卒業或いは中退者。（大卒5名、同中退者1名、専門学校卒1名）（表17）

o 定時制クラス11名のうちほとんどが既卒者（9名）であり、これまでとほぼ同じ傾向。
このうち勤務継続者は3名。

（表15）出身地域別入学者の推移

		R1	R2	R3
九州	福岡県	(64) 39	(48) 29	(59) 42
	その他	(31) 19	(39) 24	(34) 24
九州域外		(5) 3	(13) 8	(7) 5
計		(100) 61	(100) 61	(100) 71

注（)内は構成比（%）

（表16）出身地域別、高校新既卒別入学者

		新卒	既卒	計
九州	福岡県	(69) 29	(31) 13	(100) 42
	その他	(71) 17	(29) 7	(100) 24
九州域外		(60) 3	(40) 2	(100) 5
計		(69) 49	(31) 22	(100) 71
R2.4入学者		(54) 33	(46) 28	(100) 61

（表17）既卒者の学歴、勤務状況

		入学者数	新卒	既卒	既卒学歴（内数）大学卒業	大学中退	専門卒業	計	勤務継続者
電気工学科	全日制	48	38	10	2	1	0	3	0
	定時制	7	0	7	2	0	0	2	2
	(小計)	(37)	(38)	(17)	(4)	(1)	(0)	(5)	(2)
電気工事士科	全日制	12	9	3	0	0	1	1	0
	定時制	4	2	2	1	0	0	3	1
	(小計)	(16)	(11)	(5)	(1)	(0)	(1)	(2)	(1)
合 計		71	49	22	5	1	1	7	3
R2.4入学者		61	33	28	4	4	5	13	5

(3) 教務関係

① 教育指導の充実

o 学生個々の適正や能力に応じた教育・指導の充実と学習環境の整備を図った。
・「数学」、「基礎講座」、「電気回路理論」を学生の能力に応じ2クラス編成。
入学までの学習履歴（文系、理系）や数学実力テストの成績をもとに編成し指導実施。
・質疑応答のための「オフィスアワー」は、コロナ感染防止のため中止。
そのため、授業の空き時間や休み時間、メールの活用により対応を行った。

o 企業や先輩の体験談講話等を実施。（舞鶴会（OB会）、（非）常勤講師の講話など）

o 入学者の減少により、電気工学科(全日制)のクラス数は4年連続して、1年次、2年次とも1クラスとなった。

② 国家資格取得の推進（表18、19）

o 在学中の国家資格取得を奨励し、「技術講座」科目は、学生毎の能力を考慮し国家資格別のクラス編成とし、効果的な授業を実施。

o 電気工事士（第一種・二種）受験対策講座への在校生の積極的受講を指導。

o 令和2年度合格者数
・ 電気主任技術者：第二種1名、第三種5名。　・エネルギー管理士2名。
・ 電気工事士：第一種13名合格。

（表18）国家試験合格者の年度別推移　（人）

		H28	H29	H30	R1	R2
電気主任技術者	第二種	0	0	0 (2)	0	1
	第三種	2 (4)	4 (5)	1 (2)	5 (6)	5
電気工事士	第一種	18	11	15	12	13

（注）1. 表中（ ）内は既卒者を含めた合格者数

（表19）電気主任技術者(第三種)の科目合格者数の推移（人）

	H28	H29	H30	R1	R2
1科目合格	4	5	4	3	4
2科目合格	2	2	3	1	3
3科目合格	1	0	2	3	2

(4) 令和2年度卒業生の就職等進路

o 卒業生60名のうち、48名が就職希望。内定率98%。(表20)
他の12名は既職、自営等。

o 就職希望者48名は昨年(49名)とほぼ同じ。一方、全国的に電気技術者が不足しており、当校への求人数は227社と、昨年から若干減少しているが、200社を超える求人有り。。
求人倍率は4.7倍(昨年は4.9倍)。(表21)

o 内定企業数は37社。なお昨年と同じ企業への内定は16社24名。(51%)(表22)
職種別では、建設関係が16社19名(40%)、サービス関係が16社21名(45%)。
九電(1名)や九電工(5名)及びその関係の深い会社への内定者は10社11名、計17名(36%)。

(表20) 卒業生の進路

		卒業者 (A+B)	就職希望者(A)			他の進路内訳(B) (注)				
				内定(a)	未定者		進学	既職	自営等	その他
電気工学科	全日制	32	29	28	1	3	0	0	1	2
	定時制	8	5	5	0	3	0	2	1	0
	(小計)	40	34	33	1	6	0	2	2	2
電気工事士科	全日制	12	9	9	0	3	0	0	3	0
	定時制	8	5	5	0	3	0	1	2	0
	(小計)	20	14	14	0	6	0	1	5	0
合 計		60	48	47	1	12	0	3	7	2
	就職内定率(a/A)		(47/48=) 98%							

(注)その他・・・家事手伝い、資格取得等

(表21) 就職内定率等 年度別実績

	H28	H29	H30	R1	R2
就職内定率(B/A %)	100	98	100	98	98
就職希望者数(A)	42	59	48	49	48
就職内定者数(B)	42	58	48	48	47
求人社数(C)	215	227	252	239	227
求人倍率(C/A)	5.1	3.8	5.3	4.9	4.7

(表22) 内定者の職種別内訳 ( )内は内定企業数

	内定者数	内定者職種別内訳				(参考)		
		建設	製造	サービス	その他	九電	九電工	関連会社
電気工学科	(26) 33	(7) 8	(5) 7	(14) 18	(0) 0	1	2	(6) 6
電気工事士科	(11) 14	(9) 11	(0) 0	(2) 3	(0) 0	0	3	(4) 5
計	(37) 47	(16) 19	(5) 7	(16) 21	(0) 0	1	5	(10) 11

以 上